

令和7年度体力づくり優秀組織表彰の概要

この表彰は、地域や職場における保健・栄養の改善及びスポーツ・レクリエーションの普及運動（体力づくり運動）を推進し、顕著な成果を上げている組織を文部科学大臣、体力づくり国民会議議長が表彰することにより、体力づくり運動の普及及び充実を図ることを目的に昭和43年から実施している。

各都道府県教育委員会等から推薦された7組織について、別添概要のとおり、本年度の被表彰組織として決定した。

1. 推薦基準

- ア 体力づくり運動を推進するための、住民（従業員）参加による組織運営が円滑に営まれていること。
- イ 体力づくりに関する実践・啓発・広報活動が積極的に行われていること。
- ウ 体力づくりを実践するクラブ等の育成が積極的に行われていること。
- エ 体力づくり関係施設の提供等が積極的に行われていること。
- オ 過去において体力づくり運動に関する功績により国の表彰を受けていないこと。
- カ 体力づくり国民会議議長賞を受賞し、受賞後原則として3年以上を経過していること。（文部科学大臣賞のみの推薦基準）

2. 表彰式

（1）日時：令和8年2月10日（火）

生涯スポーツ・体力づくり全国会議2026

「オープニング・表彰式」10時00分～10時35分

（2）場所：栃木県総合文化センター（栃木県宇都宮市本町1-8）

※文部科学大臣、体力づくり国民会議議長から、表彰状及び記念品（盾）を贈る。

【参考】体力づくり運動について

昭和39年12月「国民の健康・体力増強対策について」の閣議決定に基づき、健康の増進、体力の増強について国民の自覚を高めるため、推進されている運動。翌40年3月、趣旨の普及・徹底と実践的効果を高めるため、「体力づくり国民会議」が結成された。現在、8府省、211団体から構成され、事務局を文部科学省（スポーツ庁）に置く。

体力づくり国民会議議長賞（3組織）

【栃木県那須町】（栃木県）

那須町は、高齢者の自主的な運動教室である「ステップアップクラブ」や「シニアの食育」など、住民が中心となった取組が盛んに行われており、特に那須高原ロングライドについては、本県の中でも珍しい純粋な地元企業・住民主催のサイクルイベントとして、町内外のサイクリストに広く親しまれている。

さらに、スポーツ推進委員によるニュースポーツ体験会や出前授業が平成 23 年から行われ、例年 1,000 名以上の方に生涯スポーツのきっかけを提供しているところである。

またスポーツ少年団の加入人数が増加傾向であることに加え、現在総合型地域スポーツクラブの設置に向け準備委員会を設置したところである。

加えて、町有施設の利活用も積極的に取り組んでおり、学校開放施設含め 21 施設を延べ 151,761 人が利用している。

【大阪港湾健康保険組合】（健康保険組合連合会）

大阪港湾健康保険組合は、大阪港で働く港湾荷役従事者とその家族の健康保持増進および福利厚生を目的として、昭和 16 年 11 月に設立された健康保険組合である。現在、健保組合として「スポーツエールカンパニー2025（シルバープラス）」および「健康経営優良法人 2025（中小規模法人部門）」の認定を受けている。また、加入事業所の 93.5%が「健康宣言」をしており、健保組合が「健康経営」を推進している。

当該組合の体力づくり事業として、動物園や水族館など参加者が楽しみながら取り組める「ウォーキングイベント」や体力測定とインボディ測定を実施する「からだ年齢チェック」があり、いずれも運動をはじめるきっかけづくりとなっている。

また、事業所の健康課題解決と、自分の身体の状態を数値で可視化することで、自身の健康状態を「自分事」として捉えてもらうための測定会（ロコモチェックや握力測定など）を事業所健診に合わせて実施するなど、事業所とのコラボヘルスにより、加入者に自発的な健康行動を促す取り組みや、事業所の健康風土づくりを行っている。

さらに、健保組合職員に対する体力づくりにも積極的に取り組んでいる。例えば、職員全員でラジオ体操と 3 分間のストレッチを実践している。このほか、歩幅チェックができるフロアマットやスタンディングテーブルを設置し、働く環境に運動を意識する仕組みを取り入れている。